

○在日韓国人の総合情報紙

○ニュースや情報は0120-130-123(フリーダイヤル)、阿部・手塚・中村・野まで

タリタリ

6月11日(木)増刊
第3779号 (240円) (税込)

©東洋経済日報社 1992

東洋経済日報社
発行人 朴一哲
〒104 東京都中央区銀座3-10-4
電話 (03)3543-7111(代) FAX 3543-7135

大阪本社 〒530 大阪市北区豊崎南1-3-23 ☎(06) 344-2431
名古屋支社 〒460 名古屋市中区栄2-3-8 ☎(052)201-2636
韓国支社 〒100 ソウル特別市中区大平路1街25 ☎(02) 734-7111
1946年4月1日創刊・1959年7月20日 日本政府第3種郵便物認可
1971年4月14日韓国政府通信部第3種郵便物認可

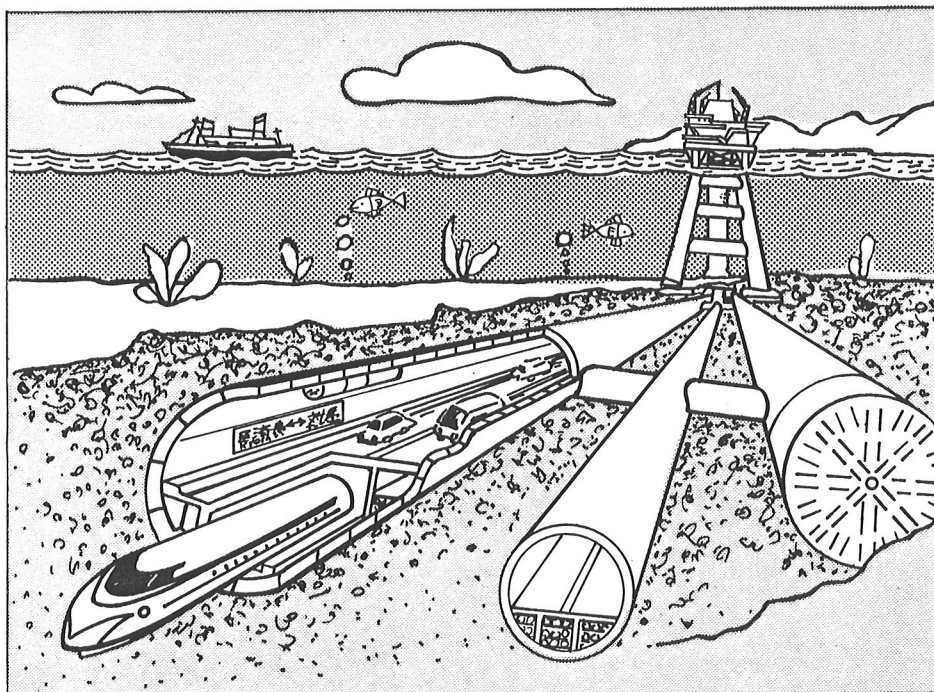
生活のなかにも、いつも身近なガラス。
透過した美しいガラスは、
人々にあたたかみ、未来を予感させます。
そんなガラスを通して、
遠く未来を見つめています。



人・ガラス・未来

東洋ガラス株式会社
〒100 東京都千代田区中央1-1-1 (丸の内線丸の内駅)
TEL (03)3501-5300(代表)

夢でない'日韓トンネル'



東京からロンドンまで、国際ハイウェイでノンストップで行けたら——そんな夢のような話を現実化しようという動きがある。このための、日本と韓国を海底トンネルで結ぶ「日韓トンネルプロジェクト」が発足して今年で十年。学術的な基礎調査も終わり、計画が夢でないことが実証されている。本格的なプロジェクト推進に向け、動き出した日韓トンネル構想を巡ってみたい。

◀これが日韓トンネルの完成予想図だ

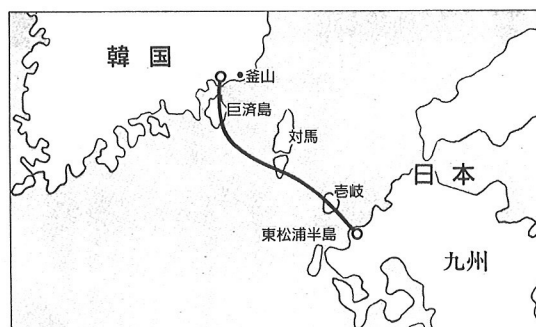
10年の学術的な基礎調査終わる

日本の技術なら可能

東京—ロンドン国際ウエーも

二年に国際ハイウェイ建設事業団(東京・渋谷)が設立され、その下部組織として日韓トンネル研究会(佐々安雄会長)北海道(釜本喜久雄)が設立、海底トンネルの建設に関する地質調査など基礎調査が開始された。これまでに、北九州、香岐、対馬の第一、二次地質調査、佐賀県東松浦半島での

二年に国際ハイウェイ建設事業団(東京・渋谷)が設立され、その下部組織として日韓トンネル研究会(佐々安雄会長)北海道(釜本喜久雄)が設立、海底トンネルの建設に関する地質調査など基礎調査が開始された。これまでに、北九州、香岐、対馬の第一、二次地質調査、佐賀県東松浦半島での



日韓トンネルの予定ルート図

多目的利用に おこなえるホテル。

- ご宿泊/客室数400-700名様
- ご結婚披露宴・ご宴会/20名様から1,500名様まで
- お食事/6つのレストラン・バー
- 展示会・ショー



●地下鉄有明駅より徒歩5分・阪神東本町出口前
大阪コクサイホテル
大阪市中央区本町2-33 TEL (06)941-2661